

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成9年1月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第67巻 第4号

ISSN 0525-2997

vol.67 no.4

物性研究

1997 / 1

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 63 (1994), 1. のように引用して下さい。

原稿作成要領

1. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
2. 別刷ご希望の方は、投稿の際に50部以上10部単位で、必要部数、別刷送付先、請求先を明記の上、お申し込み下さい。
3. **ワープロ原稿の場合**

ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。（特に希望される場合には、こちらでタイプし直すことも可能ですが、経費の節約のため、できるだけ写真製版できる原稿をお願いします。）

 - 1) 用紙はB5またはA4を縦に使用。（印刷はB5になります。）
 - 2) マージンは、上下あわせて約4.5cm、左右あわせて約4cm。
 - 3) 1ページに本文34行、1行に全角文字で42字。
 - 4) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、余白を十分にとって下さい。
 - 5) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 6) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
4. **手書き原稿の場合**
 - 1) 原稿は400字詰原稿用紙に丁寧に書いて下さい。
 - 2) 数式は大きく明瞭に書き、1行におさまらない場合の改行箇所を赤で指定して下さい。
 - 3) 数式、記号の書き方は、Progress, Journalの投稿規定に準じ、立体（□）、イタリック（*□*）、ゴシック（**□**）、ギリシャ文字（ α ）、花文字、大文字、小文字などを赤で指定して下さい。本誌は立体を基本としてタイプされますので、式にも必ず、イタリック、立体を指示して下さい。また、著者校正はありませんので、特に区別しにくい文字や記号なども赤で指定して下さい。
 - 4) 図は写真製版できるもの（こちらではトレースはいたしません。）を図の説明と共に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 63 (1994), 1. のように引用して下さい。

原稿作成要領

1. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
2. 別刷ご希望の方は、投稿の際に50部以上10部単位で、必要部数、別刷送付先、請求先を明記の上、お申し込み下さい。
3. **ワープロ原稿の場合**

ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。（特に希望される場合には、こちらでタイプし直すことも可能ですが、経費の節約のため、できるだけ写真製版できる原稿をお願いします。）

 - 1) 用紙はB5またはA4を縦に使用。（印刷はB5になります。）
 - 2) マージンは、上下あわせて約4.5cm、左右あわせて約4cm。
 - 3) 1ページに本文34行、1行に全角文字で42字。
 - 4) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、余白を十分にとって下さい。
 - 5) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 6) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
4. **手書き原稿の場合**
 - 1) 原稿は400字詰原稿用紙に丁寧に書いて下さい。
 - 2) 数式は大きく明瞭に書き、1行におさまらない場合の改行箇所を赤で指定して下さい。
 - 3) 数式、記号の書き方は、Progress, Journalの投稿規定に準じ、立体（□）、イタリック（*□*）、ゴシック（**□**）、ギリシャ文字（ α ）、花文字、大文字、小文字などを赤で指定して下さい。本誌は立体を基本としてタイプされますので、式にも必ず、イタリック、立体を指示して下さい。また、著者校正はありませんので、特に区別しにくい文字や記号なども赤で指定して下さい。
 - 4) 図は写真製版できるもの（こちらではトレースはいたしません。）を図の説明と共に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。

「修士論文」募集

例年、本誌では、各大学の物性分野の修士課程修了者の研究内容を紹介しています。本年も1996年度の修士論文を募集します。学術的に価値の高いもの、研究内容がユニークで面白いもののほか、研究は完成していないが今後に興味ある問題提起を含むものや、Review 的な力作など、特色のある修士論文を投稿して下さい。

1. 募集締切：1997年3月31日（月） [締切厳守]
2. 自薦、他薦は問いません。また、教室の推薦を歓迎します。
3. 論文のコピーを2部 お送り下さい。
4. 4月以降の連絡先を明記して下さい。

紙数の許す限り掲載したいと思いますが、掲載の可否については編集委員会にご一任下さい。昨年場合は、判断基準として、論文の内容および分野間のバランス等を考慮しました。尚、掲載が決定した論文については、次のような対応を取らせていただきます。

1. 原則として、英文の修士論文は日本語に訳していただきます。
2. 枚数の多いものは、簡潔な内容に縮めていただく場合や、写真印刷の都合上、体裁を整えていただく場合があります。
3. 掲載された論文の著者には別刷50部、無料で差し上げます。

[問合せ&送付先]

〒606-01 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel: (075)753-7051, 722-3540

Fax: (075)722-6339

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

編集後記

教官の任期制の問題（任期制の最終答申が大学審議会から文部大臣に10月末に出された）など、大学改革が大々的に取り上げられている昨今であるが、あまりお金をかけずに、名前や制度という形だけを変えればそれでよい、といった安易な態度がどうも政府側（文部省側）に見えかくれしてならない。いろいろなところで既に議論されているだろうが、大学の人事の活性化のためには、やはり移ってもそれなりの魅力のある大学や研究機関づくりが大切なのであって、ただ人をぐるぐる回そうといったって意味はなからう。そもそも（消極的な意見かもしれないが）大学を変わり、新たに研究室を作って今までと同程度の機能を持たせようとするだけで相当な予算が要る。まして、活性化であるのだからそれまで以上のシステムを作り上げるのには莫大なお金がかかるのは明らかである。

以前、ある大学で、学部、学科を新設しようとしたときに「名前」で困っておられる先生方とお話をする機会があった。彼らがおっしゃるのに、「去年は”応用…”で良かったのだけれど、文部省の官僚が変わったら”応用”は嫌いだからダメだと言われた」というのだ。今の’はやり’は何か知らないが、そのころは”人間”とか”環境”というのが文部省側のお気に入りだったらしい。名前だけ変えれば良いというものではないだろう。そう思っで見渡せば実体の伴わない変な名前の学部・学科が最近良く目に付く。大学側は何も好んでつけているのではなく、文部省が名前を適当な’はやり’のものにしないと認めてくれないのであろう。

もっと、中身のある改革を行わなければ、大学の危機は乗り越えていけないのではなからうか。

(K. Y. h v)

| | | | |
|------|---------|-----------|-------------------------------------|
| 物性研究 | 第67巻第4号 | (平成9年1月号) | 1997年1月20日発行 |
| 発行人 | 村瀬雅俊 | 〒606-01 | 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内 |
| 印刷所 | 昭和堂印刷所 | 〒606 | 京都市百万遍交差点上ル東側 TEL(075)721-4541~3 |
| 発行所 | 物性研究刊行会 | 〒606-01 | 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内 |
| 年額 | 19,200円 | | |

編集後記

教官の任期制の問題（任期制の最終答申が大学審議会から文部大臣に10月末に出された）など、大学改革が大々的に取り上げられている昨今であるが、あまりお金をかけずに、名前や制度という形だけを変えればそれでよい、といった安易な態度がどうも政府側（文部省側）に見えかくれしてならない。いろいろなところで既に議論されているだろうが、大学の人事の活性化のためには、やはり移ってもそれなりの魅力のある大学や研究機関づくりが大切なのであって、ただ人をぐるぐる回そうといったって意味はなかろう。そもそも（消極的な意見かもしれないが）大学を変わり、新たに研究室を作って今までと同程度の機能を持たせようとするだけで相当な予算が要る。まして、活性化であるのだからそれまで以上のシステムを作り上げるのには莫大なお金がかかるのは明らかである。

以前、ある大学で、学部、学科を新設しようとしたときに「名前」で困っておられる先生方とお話をする機会があった。彼らがおっしゃるのに、「去年は”応用…”で良かったのだけれど、文部省の官僚が変わったら”応用”は嫌いだからダメだと言われた」というのだ。今の’はやり’は何か知らないが、そのころは”人間”とか”環境”というのが文部省側のお気に入りだったらしい。名前だけ変えれば良いというものではないだろう。そう思っで見渡せば実体の伴わない変な名前の学部・学科が最近良く目に付く。大学側は何も好んでつけているのではなく、文部省が名前を適当な’はやり’のものにしないと認めてくれないのであろう。

もっと、中身のある改革を行わなければ、大学の危機は乗り越えていけないのではなからうか。

(K. Y. h v)

| | | | |
|------|---------|-----------|-------------------------------------|
| 物性研究 | 第67巻第4号 | (平成9年1月号) | 1997年1月20日発行 |
| 発行人 | 村瀬雅俊 | 〒606-01 | 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内 |
| 印刷所 | 昭和堂印刷所 | 〒606 | 京都市百万遍交差点上ル東側 TEL(075)721-4541~3 |
| 発行所 | 物性研究刊行会 | 〒606-01 | 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内 |
| 年額 | 19,200円 | | |

会員規定

個人会員

1. 会費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

| | | |
|-----|-----------------------|----------|
| 年会費 | 1st Volume (4月号～9月号) | 4,800円 |
| | 2nd Volume (10月号～3月号) | 4,800円 |
| | | 計 9,600円 |

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円** (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類(請求、見積、納品書)が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606-01 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
電話 (075)722-3540, 753-7051
FAX (075)722-6339

物 性 研 究 67-4 (1月号) 目 次

○修士論文 (1995年度)

J会合体におけるハイトラ実験……………松田 康平………… 387

タングステン-ブロンズ型強誘電体物質 $Ba_2NaNb_5O_{15}$ の
低温における短距離秩序……………菖蒲 敬久………… 426

ポリアセチレンの極低温下高導電性に関するドーパントの効果
……………増井 孝彦………… 448

シングルリード木管楽器の発音機構……………橘 崇哲………… 468

量子系における統計力学の基礎に関する数値的研究……………齊藤 圭司………… 511

○掲示板…………… 543

○編集後記…………… 544

物 性 研 究 67-4 (1月号) 目 次

○修士論文 (1995年度)

J会合体におけるハイトラ実験……………松田 康平………… 387

タングステン-ブロンズ型強誘電体物質 $Ba_2NaNb_5O_{15}$ の
低温における短距離秩序……………菖蒲 敬久………… 426

ポリアセチレンの極低温下高導電性に関するドーパントの効果
……………増井 孝彦………… 448

シングルリード木管楽器の発音機構……………橘 崇哲………… 468

量子系における統計力学の基礎に関する数値的研究……………齊藤 圭司………… 511

○掲示板…………… 543

○編集後記…………… 544